

優 秀 賞

東京都 建設局

京王電鉄京王線・同相模原線(調布駅付近)連続立体交差事業

都 市 名	東京都 調布市	事業 主 体	東京都
事業 概 要			
<p>本事業は、京王線の柴崎駅～西調布駅間約2.8kmの区間と、相模原線の調布駅～京王多摩川駅間約0.9kmの区間を地下化することにより、18箇所の踏切の除却及び附属街路の整備を行うものである。</p> <p>事業前は、国領1号踏切部において最大290mの渋滞が生じるなど、慢性的な交通渋滞が発生しており、緊急・救急活動等の妨げになるなど、深刻な影響を及ぼしていた。また、鉄道による南北の地域分断や、狭隘な歩車道、駅前広場が未整備であることなど、地域の利便性・安全性に問題を抱えていた。</p> <p>本事業により、1日平均11時間あった踏切全18箇所の遮断時間がなくなり、慢性的に発生していた交通渋滞が解消された。また、踏切事故がなくなり、道路と鉄道それぞれの安全性が向上した。さらに、鉄道の地下化による地域分断の解消や、駅前広場整備による交通結節点機能の強化、再開発事業によるまちづくりなど、地域の発展に大きく寄与した。</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ○事業延長：約3.7km（京王線：約2.8km、相模原線：約0.9km） ○附属街路：延長約0.3km、幅員6m～8m、路線数2本 ○事業費：約1,113億円 ○事業期間：平成14年度～平成26年度 			
表 彰 理 由			
<p>鉄道の地下化により18カ所の踏切が除却され、踏切事故が無くなり、慢性的な交通渋滞の解消と円滑な消防・救急活動に寄与するとともに、道路と鉄道それぞれの利便性・安全性が向上したことが高く評価された。</p> <p>また、駅前広場整備による交通結節点としての機能向上が図られるとともに、本事業を契機とした周辺開発が大きく進むなど、新たなまちづくりに寄与したことも評価された。</p>			

